

# 会派の主張

本会議の  
質問など

三面から六面の内容は  
各会派が責任をもって  
掲載しています。

## 日本共産党

代表質問 塩田 清人  
個人質問 浅野 耕世

個人質問 長岡 嘉一

なにより、いのち。感染抑える早期発見と治療を。  
府水道企業団 統合は見送れ！

交通移動支援の仕組み

— づくりについて —

問 交通移動支援の検討で大切なことは、市民が利用しやすい仕組みをつくること。乗り場を増やし、利用料金軽減のためにも公費負担をすべきだがどうか。

副技監 タクシー配車する交通拠点を、1エリア一カ所設置をめざしている。公費負担は考えていないが、クロスセクター効果から関

係部局と実施可能な施策の検討を進める。

— 新型コロナウイルス対策強化について —

問 ワクチン接種等の感染症対策とともに、感染の早期発見・治療への感染源対策が必要である。PCR検査等の大規模で効果的な実施を提案する。

健康部長 早期発見として集中的検査は有効なものとして認識しており、府や関係部

局と調整していく。

— 災害対策の強化について —

問 被害想定地域に立地の第一避難所の見直し検討をどう進めるのか。

危機管理監 所管部局と調整し、地域資源活用も含め自主防災組織とも対話を進め在り方考える。

— コロナ禍での小規模事業者支援について —  
問 事業継続の瀬戸際に立

## 東大阪政心会

個人質問 鳴戸 鉄哉

市の職員に人権意識を認識させるための研修システムを構築せよ！

— 気候変動問題について —

問 札幌市においては、温室効果ガス排出実質ゼロに向けて、札幌市民全体の縮図となるような無作為抽出で募った市民20人による、気候市民会議さっぽろ20

20を開催し、環境問題に

対して様々な提案をしている。この無作為の市民を選び環境問題を話し合う取組は、フランスで始まったと言われている。ここで注目すべきは、上からの削減計

画ではなく、ポトムアップで住民や事業所自らが環境問題を考え、政策を実現していくことだと考える。本市においても、無作為抽出で募った住民による会議体

をつくり、環境問題を全市民的に盛り上げる必要があると考えるがどうか。  
環境部長 今後会議体の在り方を見直していく中で、議員で提案の住民による会

市民の命と健康を守ろう！



たされている事業者に対して、①市独自の応援給付金の支給②感染防止対策経費への支援③専門家の派遣など併走型の支援を実施するよう求めるがどうか。  
理事 国の地方創生臨時交付金の活用を含め、コロナ禍に応じた必要な支援の実

施を検討する。  
問 経済活動の再開に乗り遅れないために支援策の再構築が求められる。中小企業振興条例に基づき、事業者の詳細な調査をした上で、振興会議で市民的議論を行

合の必要性を見出しにくい」と報告している。拙速な統合は見送るべきだがどうか。  
水道総務部長 効果額の内22億円は統合しなければ得られない補助金である。統合で市民に不利益があつてはならないと考えている。  
— 教員不足解消について —  
問 中学校では、家庭科や技術の教員が未配置の学校もあり、「教科外申請」というその教科の免許を持っていない教員が授業を分担して受け持つという事態にまでなっている。「小中一貫コ

理 事業者の声などの幅広い意見を聴き、本市の実情に沿った支援を来年度予算に反映できるように努める。  
— 府水道企業団の統合について —  
問 統合で43億円の財政的メリットがあるというが、企業団は「人口規模の大きい団体では早期の統

で自分に疎外する気持ちがあつて自覚し、どう認め合つて生きていくかを考える、この人権意識が重要だと思う。例えば、職員にも優秀な人が入つてこられていると思うが、市民に対して上から目線で対応している職員はいないだろうか。心の中では市民を疎外している職員はいないか。自分にも疎外する気持ちがあるとい

議体の形も含め、市民の皆様のご意見をより施策に反映できるように仕組みについて、引き続き検討する。  
— 研修システムの構築について —

問 私は今こそ平和と人権擁護の重要性を感じている。国民の間違った意識や感覚を改めるためには、部落差別解消法のように法律をつくり、基準を設け、その上

うことを認識するための研修が必要だと思つがどうか。  
行政管理部長 現在アンコンシヤス・バイアスを取り上げた人権研修を実施している。アンコンシヤス・バイアスとは、無意識の思い込みや偏見であり、市民対応など業務上の悪影響とならないよう、職員に気づきを与えられるような研修を今後実施する。